

仙台市議会議員 (青葉区) 岡部 恒司

# 仙台市議会活動レポート

令和3年第4回定例会報告

2022年 **新春** 号ホームページは  
こちらです！

■発行人 岡部恒司

■ご意見ご要望は…〒981-0933 仙台市青葉区柏木2-4-16-501 TEL022-271-1770 <http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

日頃よりの仙台市政へのご協力に感謝申し上げます。

今回の仙台市議会レポートは、令和3年第4回定例会の報告を致します。今定例会では、18歳以下の子どもへの10万円一括給付のための補正予算を含め25議案を可決いたしました。

主な補正予算は、新型コロナウイルスワクチン3回目接種費に、38億2,536万円、原油高騰の緊急対策として、低所得世帯に5,000円の生活助成金を給付する8億5688万円、幼稚園が2歳児の預かり保育を実施する施設改修費800万円も計上しました。

今回のレポートは「会派 自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、他会派代表質疑の質疑項目の一部を掲載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

## 令和3年第4回定例会 会派自由民主党代表質疑抜粋

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**質問** 8月から9月にかけてのいわゆる第5波では、従来株よりも感染力が強い変異株であるデルタ株への置き換わりが進み、全国各地で急速かつ広範囲に感染が拡大した。現在、オミクロン株について多くの国での感染例が報告され、世界的に警戒が強まっている。今後の感染症拡大は起こり得るものとして、第5波における検証や分析を行っておく事は大変重要だ。改めて第5波における本市の対応を振り返り、どう評価し、またどんな課題があったと認識しているのか伺う。

さらに感染拡大を防止しながら、日常生活や社会経済活動の継続が可能となるような備えと対応も考えていなければならない。本市において第6波を想定して、保健医療提供体制の面から、市民生活・経済活動といった面からも具体的にどんな準備を進めていくのか。

**答弁** 患者の急増を機に宿泊療養施設の確保、またその入所に時間を要するなどの課題も生じた。第5波における新規陽性患者数最大値の1.2倍の感染者が発生することを想定し、保健・医療提供体制確保計画を策定した。

**質問** 新たな変異株が次の第6波を引き起こす可能性は否定できない。その意味でも新たな変異株に対する検査体制をしっかりと確保し早期の把握と市民への情報提供が重要だ。本市におけるオミクロン株に関する検査体制はどうなっているのか。

**答弁** 衛生研究所において、8月に新たに次世代遺伝子解析装置を導入しており、迅速なゲノム解析が可能となっている。オミクロン株陽性者は症状にかかわらず原則入院とするなど、確認された際には患者対応等も着実にを行うとともに、市民の皆様への情報提供も適切に行い感染拡大防止に努めていく。

**質問** 感染再拡大を見据えた対策は急務で、新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種は大変重要だ。今後の接種対象者や接種時期、可能な会場等本市における3回目接種の前倒しを含め、その概要を伺う。

**答弁** 2回目接種の実績に基づき医療従事者に続き高齢者施設の入所者や従事者、そして医療従事者以外の高齢者の方々へ順次対象が拡大していく。その際、1・2回目の接種体制と同様に集団接種、個別接種に加え大規模接種センターを組み合わせて十分な接種体制を構築していきたい。

**質問** 1・2回目の接種の経験を生かし3回目の接種をより市民にとって利便性が高く円滑に進めることを求める。1・2回目の接種の際の課題に対し、3回目の接種でどう対応していくのか伺う。



**答弁** 今回接種券の送付に際して、接種を希望するすべての方が、必要な情報を確実に入手いただけるよう案内を同封していく。

3回目接種の対象者が拡大する1月初めより本市のコールセンターをフリーダイヤル化することを検討している。

**質問** 3回目接種を円滑に進めていくためには、十分な量のワクチンの確保が必須だ。3回目接種におけるワクチン供給の見通しは如何か。

**答弁** 必要量は確保される見込みだ。2月以降は全国的にファイザー社製の供給量が少なく、モデルナ社製が数多く供給される見込みとなっている。3回目接種からは集団接種や個別接種においても、モデルナ社ワクチンを使用していくことが必要と考えている。

**質問** 3回目と並行して今後対応しなければならないのは、5歳から11歳の小児に対するワクチン接種だ。現時点での本市の認識や今後の対応について伺う。

**答弁** 早ければ来年2月から開始することが見込まれている。小児への接種に際しては、ファイザー社製の小児専用ワクチンを使用することに加え、接種量が大人と異なることなどを踏まえ、個別接種による丁寧な対応が必要と考えている。

#### 4病院の再編について

**質問** 11月15日に本市は「県が公表した政策医療の課題解決に向けた県立病院の今後の方向性について関する本市の考え」を提出した。市の考えに対し県からはどんな反応があったのか。

また、この間、「本市の考え」提出以外に、本市としてのこの問題についてどんな対応を行ってきたのか伺う。

**答弁** 本市からは県に対し、担当部署間での協議や情報交換を求めており、県からは今後文書で回答する旨の話をいただいている。

県の方向性及び本市の医療提供体制の現状や課題について、有識者からの意見を聴取するため、市民、学識経験者、医療関係者等で構成する懇話会を開催したところだ。

**質問** 懇話会においてどんな意見が出されたのか、それらの意見をどう活かしていくつもりか。県においては来年度末までの基本合意に向け協議を開始する旨を明らかにし、何ら情報提供がないまま再編に向けて動き出そうとしている。

今後、本市としてどう対応していくのか。

**答弁** 県からの丁寧な情報発信や地域等への説明がなされ、県民・市民等の理解を得て進めるべきである、という点については皆様が同様の考えであることを確認した。

今回の件は、市民生活に大きな影響を及ぼすものであり議論の形なども含め積極的な情報開示、丁寧な説明が必要だ。県に対し、これらを引き続き求めていくとともに懇話会での意見を参考にしながら、本市としてどのような対応が必要なのか検討していきたい。



#### 米価下落の影響と対策について

**質問** 令和3年度産の概算金は、ひとめぼれ1俵60キロにつき前年比3,100円のマイナスとなる9,500円となった。大幅な米価下落だ。

米農家からは来年以降の稲作継続に不安を訴える声が寄せられている。今回「水等経営継続支援事業」1億6,000万円余りが計上されているが、これは水田10ヘクタールにつき4,000円の支援である。この事業の趣旨、そして事業の対象となる農家がどれくらいいるのか伺う。

**答弁** 来期の作付に向けた資材購入等に要する費用負担を軽減し、米生産農家の皆様の経営継続を支援することが趣旨だ。

事業の対象者としては、市内で主食用米を生産・販売している個人・法人合わせて約1,800事業者を見込んでいる。



察施設、機械の整備助成など様々な取り組みにより若手農業者や新規就農者を支援していく。

### 公共交通運行継続奨励金について

**質問** 運行継続奨励金について、対象となる事業者や支援の意義について伺う。

**答弁** 市内で路線バスを運行する交通事業者4社を対象に、4月から9月までの運行経費に対する支援を行うこととし、引き続き市民の皆様の生活を支える路線バスの運行の維持につなげていきたい。

**質問** 今回の奨励金だけでは公共交通を持続可能なものとしていくことはできない。地域交通も含めて、今後公共交通の確保に向けてどう取り組んでいくのか伺う。

**答弁** 複数の事業者間で路線やダイヤを調整するなど、運行の効率化を図りながら、交通事業者の経営改善や利用者サービスの向上に関わる具体の検討を行っていく。

また、地域交通など地域の実情に応じた多様な移動手段について公共交通ネットワークの構築に向けて取り組んでいきたい。

### 子育て世帯や生活困窮世帯への支援について

**質問** 0歳から高校3年生までの子供たちを養育する年収960万円に満たない世帯に対し、子供一人当たり10万円相当の給付を行う事が掲げられた。支援は、いち早く対象の市民の皆様には手に届き、消費行動と相まって効果が実感されることが肝要だ。スピード感を持った対応が何よりも重要だ。本市においてはどう取り組んでいくのか、所見を伺う。

また、市長はエネルギー価格高騰への対応にも言及し、燃料費助成を行うとの事だが、改めて取り組みと支援の内容を伺う。

**答弁** まずは子育て世帯等に対する給付金を速やかに支給開始できるよう取り組んでいくとともに、燃料価格が高騰している状況を踏まえ「冬期生活助成金」の支給についても併せて実施する予定だ。

**質問** 10万円を現金で一括給付する方が現実的だと考えるが市長の所見を伺う。



**質問** 今回の米価下落は生産者側に何の落ち度もないにもかかわらず所得の減少という酷な結果を生んでいる。米農家の皆様の生産意欲が衰退し、離農者や耕作放棄地が増加することを何よりも危惧している。どう認識しているのか。また次期作に向けた米農家の生産意欲の回復をどうみているのか。

**答弁** 提案している支援事業をはじめ、国が提示している米の長期保管に関わる支援策や、県が示した販路拡大支援事業、作付転換支援事業なども組み合わせ、生産者の皆様が来期の作付に向けて前向きに取り組んでいただけるよう努めていく。

**質問** 米農家に対する支援と合わせて、米の消費拡大や過年度米の過剰在庫の解消を図ることも重要だ。過剰在庫となっている米について、こども食堂やフードバンクへの提供を行うことによって、困窮者への支援と、米の過剰在庫の解消になり、需給バランスの改善という2つの効果が期待できる。本市としてもこども食堂への米の提供等の対策に取り組み、事業者を後押しすべきと考えるが如何か。

**答弁** 中長期的視点から米の消費拡大や過剰在庫の解消を図ることが重要だと認識している。国による米の長期保存に関わる支援やこども食堂への提供、県が計画する販路拡大支援事業等の今後の進捗を注視しながら、関係機関と情報を共有し必要な対応を検討していく。

**質問** 本市としても若手の農業者や、これから就農する可能性がある若者が、農業に対して希望が持てる環境整備や施策を展開する必要がある、当局の認識は如何か。

**答弁** 農業従事者の減少・高齢化が進行している状況にあって、担い手の確保・育成及び経営の継承に向けた環境作りは、喫緊の課題で、所得の確保や労働環境の改善など経営力の強化が必要であると認識している。

今後秋の相談会の開催、認定新規就農者への営農状況フォローアップや農業用視

**答弁** 給付については、現金給付に関する国の考え方が整理されるのを受け検討していきたい。

### 交流人口ビジネス活性化戦略について

**質問** 国の Go Toトラベル事業などは、短期的には有効と考えるが、大事なのはその後だ。今後の交流人口の回復と経済の活性化のため、どんな視点・方向性を持って取り組んでいくつもりか。

**答弁** 仙台・東北の地域に根ざした文化や食、ものづくりなどを体験する、いわゆるローカルツーリズムや、健康やSDGsをテーマにした旅行の推進により、滞在時間の延伸や旅行者の満足度向上を図る方策等について検討している。こうした取り組みの推進のためには、地域や異業種の方々も含め、関係者が共に考え実践する仕組み作りも重要と考えている。



### デジタル化の取り組みについて

**質問** 暮らしやすい都市、選ばれる都市を目指す上で各種の行政施策・市民サービスのデジタル化は非常に重要で、リーダーである市長が的確に指揮をとって組織を挙げた取り組みを進めていかなければならない。本市はどんな体制で臨み、どんな取り組みを進めてきたのか伺う。

また、市民が安心してオンラインサービスを使うことができるよう取り組みを加速させる必要がある、如何か。

**答弁** 本市では行政のデジタル化や街のデジタル化を推進するため全市的な取り組みを進めているところだ。

窓口でのキャッシュレス決済について、年内にも一部の窓口で開始できるよう準備を進めており、今後、早期にオンラインによる申請等が便利に、かつ安心して行えるよう国や都市の状況も踏まえながらスピード感を持って取り組んでいく。

### デジタル庁



### アフターコロナを見据えた取り組みについて

**質問** アフターコロナには、一気に都市間競争が激化することが予想される。私はアフターコロナを見据えた時、本市が内外から選ばれる都市であるためには、最先端の技術を活用し、市民サービスの向上や地域活性化につながる姿勢が重要だと確信しているが、当局の認識を伺う。

**答弁** 本市が国内外の企業や多くの人々、とりわけ若い世代から選ばれる都市となり地域経済を牽引する役割を担うことが重要と認識している。

今後とも最先端の技術を積極的に活用していく、挑戦の姿勢のもと、産学官連携により先端技術を積極的に取り入れるまちづくりを国内外へと発信していきたい。

**質問** 本市のこれまでの特区の取り組みをさらに加速させるのが「スーパーシティ構想」だ。応募した自治体は31、その中から選ばれるのは5自治体程度だ。選定は決して容易ではないと推察するが、選定に向けた市長の意気込みを伺う。

**答弁** スーパーシティの実現に向けては、大学や企業との連携による先端技術を生かしたまちづくりの実績を積み重ねていくことが重要と認識している。

今後、次世代放射光施設、リサーチコンプレックスの形成などの取り組みを加速させながら、本市の都市力の向上、競争力アップにつなげていきたいと考えている。



# Super City

## J-Tech challenges SDGs

### G7関係閣僚会合誘致について

**質問** 市長は外務省を訪ね林外務大臣と面会し、G7サミットの仙台開催に向けて誘致活動を行った。活動での印象と、今後の活動に向けた意気込みを伺う。

また、誘致の目的や本市における開催意義、仙台開催により見込まれる効果についても市長の考えを伺う。

**答弁** 仙台・東北の魅力はもとより、震災からの復興した姿や支援に対する感謝の気持ち

を国内外に発信できる、またとない機会になるものと認識している。科学技術や環境などの分野の閣僚会合を想定しており、大臣からは官民を上げた誘致体制に対して評価をいただいたところで、官民一体となった要望活動を本格化させ、誘致が実現するよう努力していく。

### 音楽ホールについて

**質問** ホール整備には基本構想の策定から建設まで8年もの期間を要することを考えれば、今の内から着実に前へ進めておく事が必要だ。

改めて青葉山交流広場と県民会館跡地に対する現時点での音楽ホールの立地に対する市長の考えを伺う。

**答弁** 本市が目指すホールは、我が国トップクラスの総合的な拠点だ。この点、青葉山交流広場は多様な文化・歴史・学術の資源を有し豊かな自然環境に囲まれた杜の都を象徴するエリアにある。音楽ホールの立地としても非常に魅力的かつ有力な候補の1つと考えている。



### 預かり保育推進事業について

**質問** 「預かり保育推進事業費補助金」の目的と具体的な内容について伺う。

また、待機児童解消に向けた事業の効果は。合わせて今後対象とする幼稚園を増やす考えなのか、如何か。

**答弁** 令和4年度から新たに2歳児を受け入れる幼稚園に対し、施設の改修経費等を補助することとした。2施設で合わせて15名分の受け入れ枠が確保され、待機児童解消に一定の効果があるものと考えている。

**質問** 入所待ちとなっている施設が見られる一方で、欠員が生じている施設も増えている。当局では保育ニーズや市内保育施



設の現状についてどう捉えているのか。

また保育ニーズの減少は大変切実な問題だ。今後の対応についても伺う。

**答弁** 本市の保育事業は令和5年度当初をピークに減少に転じると見込んでいる。保育事業の減少は施設の運営にも大きな影響を及ぼすことから、関係団体や民間事業者との意見交換等を通じ、引き続き保育ニーズや施設の運営状況の把握に努めながら持続可能な保育の供給体制の確保に取り組んでいく。

**質問** 市長は「令和4年度待機児童ゼロ」を選挙公約と掲げている。来年度当初の待機児童ゼロの実現について市長の所見を伺う。

**答弁** 来年度に向け保育所の新規整備、また小規模保育事業などから認定こども園の移行等により、およそ850人分の受け皿の確保を新たにします。

仙台で子供を産んでよかった、仙台で子供を育ててよかったと思えるまちづくりを進めるためにも、年度当初の待機児童の解消は確実に実現していかなければならない。その達成に向け力を尽くしていく。

### ガス事業民営化について

**質問** ガス事業民営化については、9月に優先交渉権者の該当なしとの決定がなされた。わが会派は民営化を進めるべきとの立場であり、そのためにも公募の検証、そして次の民営化にどうつなげていくのかが大変重要だ。現在の進捗状況はどうなっているのか。

**答弁** 現在、藤本副市長の下、ガス局のみならず関係部局が連携して具体的な検証を進めている。私からも改めて早めに結論を出すよう指示したところだ。

今後、有識者の意見も丁寧に向うとともに、エネルギー関係事業者等の方々のヒアリングを通じ幅広い観点から検証を行い、次なる民営化の取り組みにつなげていきたい。

### 施設の復号化について

**質問** 地域課題が複雑多様化していく中で、リニューアルはしたが、さっぱり使われないではせっかくの建て替えが台無しだ。地域が施設を最大限活用して地域づくりの拠点となるようなどんな取り組みを行っているのか伺う。特に共用部分にあたる市民交流スペースの運営や活動内容はどのようになるのか。

**答弁** 施設の復号化・リニューアルによって地域活動の拠点としての機能がいっそう高まるよう、引き続き関係部局が連携してサポートしていきたい。

**質問** 本市公共施設は、今後一気に更新時期を迎えることになる。私はこの将監地区のような複合化による施設の更新の取り組みは、極めて効果的な手法であり、地域の意向を踏まえながら計画的にさらに拡大していくことが重要と考える。

今後どんな考えで施設を更新していくのか、また他の地域において複合化の予定はあるのか伺う。

**答弁** 現在、将監地区の他にも生出地区の施設復号化に向けて地域の皆様と意見交換をしており、今後とも関係部局が連携し施設や地域の状況を踏まえ適切な整備手法を検討していく。

### 仙台工業団地の移転について

**質問** 仙台工業団地は操業開始から50年以上が経過し、老朽化している工場も多く、東西線の開業によって周辺地域の開発が見込まれることから、仙台東インターチェンジ付近への移転に向けて区画整理事業が進められている。

移転先となる六丁の目地区を条例の対象区域に新たに加えるということだが、改めて条例改正の意義について伺う。

**答弁** 今回追加する六丁の目地区については、現在条例の対象区域にある仙台工業団地の移転先として区画整理が進められていることから、移転元の区域と同様の基準を適用させることにより、スムーズな移転を促すとともに、地域におけるものづくり産業の集積を図るものだ。

**質問** 仙台工業団地の移転事業の見通し、スケジュールについて伺う。

**答弁** 移転先の造成工事を令和3年度末に完了させ、令和4年度当初から令和5年度にかけて各事業者が順次工場などを移転していく見通しになっている。

その後、移転元地では、基盤整備を進め令和7年度末には土地区画整理事業が完了する予定だ。

**質問** 仙台工業団地の移転が着実に進むよう支援すべきと考えるが如何か。

**答弁** 本市では工場等の立地促進を図るため、市内移転も含め新規投資に関わる固定資産税等相当額を助成する支援制度を運用している。

仙台工業団地についても移転が着実に進み操業が継続されるよう、各事業者に対し本制度を案内しており、今後本制度を円滑に活用いただけるよう支援していきたい。



## 他会派 代表質疑 質疑項目

### 市民フォーラム仙台

#### ●待機児童ゼロに向けて

**質問** 待機児童ゼロの実現に向け、家庭の事情等により、特定の施設を希望し、入所が保留となっている入所保留児童への対策を講じるとともに、地域の住宅事情による保育の需要と供給の地域的な偏りの解消を図るべき。

**答弁** 入所保留児童対策としては、各区の保育サービス相談員等により、個別のニーズに即した丁寧な相談支援を行うことで、1人でも多くの子どもが希望する保育施設を利用できるように取り組んでいく。また、保育の需要と供給の地域的な偏りに対しては、保育ニーズの高い地域への施設整備や既存施設の有効活用等を進めていく。

### ●自転車など駐車場附置義務の緩和

**質問** 従来の基準で設置した自転車等駐車場にも、今回の条例改正による面積基準の緩和や自転車等の車種別の台数割合の変更を適用すべき。

**答弁** 既存施設も、管理者が変更の届け出を行うことで、改正後の規定を適用できるとしている。

### せんだい自民党

#### ●4病院再整備について

**質問** 4病院存続のために仙台医療圏市町村長会議でどのような発言、意思表示をしたのか伺う。また、県に対して情報公開を求めるだけではなく、予算措置や移転先の提案など前進した具体策を述べるべき。

**答弁** 仙台医療圏全体の将来にどうつながるのか、多角的な角度で検討・評価をし、丁寧に進めるべきことに加え、市民・県民の納得が得られるように進めることを知事に要請した。また、医療提供体制に関する懇話会において有識者からいただいた意見等を踏まえ、本市の考えを整理し県に示していく。

#### ●学校施設整備の今後のあり方

**質問** 地域の方が利用しやすい学校環境の整備と、学校施設の整備に当たっての子供の意見の反映状況について伺う。

**答弁** 各学校に地域の方が利用できる活動スペース等を設け、地域の方も参加する建設委員会の意見等を参考に活動スペースを配置している。また、児童生徒から直接意見を伺ってはいるが、児童生徒と常に接している教職員や保護者等からなる建設委員会の意見を伺いつつ、より良い環境の整備に努めている。

### 公明党

#### ●新型コロナ株への感染対策

**質問** 新型コロナの新たな変異株が世界的に拡大している。本市はどのように感染対策を行っていくのか。

**答弁** 本市ではPCR検査でのスクリーニングとゲノム解析による検査を実施している。

陽性患者を確認した場合は、原則入院とする対応等を行うとともに、市民に注意喚起する。またオミクロン株にもマスク着用や手洗い、うがい、三密回避、換気等の基本的な感染対策が大切であるため、引き続き徹底を呼びかける。

#### ●4病院統合問題の具体的な議論の展開

**質問** 病院統合問題の第一回懇話会は、焦点を絞り切れないうちに行われたと感じたが、この問題はより具体的に議論が深められなければならない。本市としてどのように対応していくのか伺う。

**答弁** 県から議論を深める上で十分なデータ等が示されていないため、積極的な情報開示や丁寧な説明を求めている。第一回懇話会では本市の医療提供体制、医療需要と病院経営など、個別課題の前提となるテーマの意見交換を行ったが、今後も引き続き開催し救急医療や地域連携支援等の個別テーマについて地域の代表の考えや有識者から意見を伺い、本市の考えを深め改めて県に示したい。



キーリートリー

### みなさんの声で住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事がございましたら  
お気軽にお知らせください。

●仙台市政に対してのご意見を一言お願いいたします。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

仙台市議会議員 **岡部恒司**

お電話でご協力をいただければ幸いです。

連絡先 TEL 022(271)1770

朝8時より夜6時までの時間帯でお願いいたします。

FAX 022(271)1786

## 日本共産党

### ●4病院再編について現場の声を聴取し県に示せ

**質問** 県がすべきは、県立総合病院の配置等で地域医療を厚くすることであり、本市から総合病院を引き剥がし、本市と他自治体の対立を煽ることではない。当該病院や医療従事者、地域医療機関、住民から意見聴取を行い県に示せ。

**答弁** 4病院再編は、市民の生活に大きな影響を及ぼす事柄であり、丁寧な説明・納得を得ながら進める必要がある。仙台市の医療提供体制に関する懇話会で様々な意見を伺い、県に示していくとともに、市民・関係者の皆様の声を踏まえながら、今後の対応を検討していく。

### ●心身障害者医療費助成の現物給付を

**質問** 医療費の立て替え払いが経済的負担の大きい障害者世帯に対し、未支給や過払いへの対応を繰り返し実施していることを重く受け止め、安心して医療を受けられるよう、現物給付の実現を具体的に検討せよ。

**答弁** 受給者の負担軽減には、現物給付が望ましいものと理解しているが、現物給付が県内で統一されていないことにより、受給者や医療機関に混乱をきたすことが懸念される。現物給付の県下統一について県に強く要望していく。

## 社民フォーラム

### ●これまでの新型コロナ対策の評価と第6波の備え

**質問** 本市では第5波までの対策をどう評価し第6波に備えているのか。

**答弁** 保健所業務の全庁対応体制の構築や検査体制拡充等を行い、第5波の対応につなげており、第5波の際は県と連携した飲食店への時短要請の早期開始など、機動的に対策を講じ協力金支給やワクチン接種加速等も適切に実施した。第6波に向けては、第5波の課題を踏まえた県の保険・医療提供体制確保計画に基づき万全の備えをすることともに、ワクチンの3回目接種を着実に実施しながら、感染防止対策と社会経済活動両立に向け全庁を挙げて取り組む。

### ●4病院統合問題に対する宮城県の方向性と本市の考え

**質問** 市内2病院移転は、本市医療体制を考慮し中止を。地域包括ケア病床や回復期病床がある仙台赤十字病院と東北労災病院を本市から移転しても県内の病床充実にはつながらない。県には責任を持って県内の回復期医療の充実を図るよう求める。

**答弁** 仙台医療圏では将来的に回復期病床が不足するとされており、その確保は仙台医療圏における重要な課題だが、今般、県の方向性ではその点が何ら示されていない。再編が本市や仙台医療圏の課題解決に結びつくのか、情報やデータを示し、明らかにするとともに、慎重な検討を進める必要があることを県に繰り返し述べていく。

郵便はがき

9 8 1 0 9 3 3

仙台市議員  
岡部恒司 行

仙台市青葉区柏木2丁目4番16号501

投函される場合は、恐れ入りますが、52円切手を貼付してご投函お願いします。

※是非記入ください。

ご住所	お名前
	様

みなさんの声で  
住みやすい仙台を!

市政に関するご意見・地域のお困り事が  
ございましたらお気軽にお知らせください。

左記のハガキにてご投函ください。  
または、お電話・FAXでも承ります。

TEL 022(271)1770 FAX 022(271)1786